

株主メモ

事業年度 / 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会開催時期 / 毎年6月

基準日 / 毎年3月31日
(その他必要があるときは、あらかじめ公告して定める日)

期末配当金受領株主確定日 / 毎年3月31日
(なお、中間配当を行うときの中間配当金受領株主確定日は9月30日)



株主名簿管理人 / 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社

同事務取扱場所 / 名古屋市中区栄三丁目15番33号 〒460-8685
中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店証券代行部
☎ 0120-78-2031

同取次所 / 中央三井信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店

公告方法 / 電子公告により行います。
※ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告を
することができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

単元株式数 / 100株

上場取引所 / ジャスダック証券取引所 証券コード4558

株主優待 / 毎年3月31日現在の株主の皆様に、ご所有株式数に応じ、
自社取扱商品を5月下旬に発送いたします。

ご所有株式数	自社取扱商品
100株以上、300株未満	1,000円相当
300株以上、500株未満	2,000円相当
500株以上、1,000株未満	3,000円相当
1,000株以上、5,000株未満	5,000円相当
5,000株以上	10,000円相当

株式の名義書換、配当金のお支払い並びに諸届出等のお問い合わせは、上記株主名簿管理人の事務取扱場所並びに取次所でお取り扱いいたします。なお、「株式会社 証券保管振替機構」に預託された株券についての諸届出及び手続等に関するお問い合わせは、お取引先の証券会社へお願いいたします。

■中京医薬品ホームページアドレス
www.chukyoiyakuhin.co.jp



■中京医薬品・楽天ショップ「イキイキ良品館」
www.rakuten.co.jp/ikiiki-ryouhin/



第30期 報告書

平成19年4月1日 ▶ 平成20年3月31日



JASDAQ
証券コード4558

伝統と健康のマーク



株式会社 中京医薬品



中京薬品株式会社



株主の皆様へ



お客様と直接ふれあいながら
商品やサービスをお届けする。
私たちならではの普通のビジネスです。

株式会社 中京薬品
代表取締役社長

山田正行

CONTENTS

株式の皆様へ	2
決算ハイライト	5
トピックス	7
株主還元の推移	9
アンケート結果報告	11
連結財務諸表	13
個別財務諸表	15
株式の状況	17
会社の概要・役員・事業所	18

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より格別のご支援並びにご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに中京薬品グループの第30期（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）のご報告をするにあたり、株主の皆様へ一言ご挨拶申し上げます。

当期における我が国の経済は、企業業績の二極化がより鮮明となり、設備投資や雇用状況は好調な企業によって牽引されたものの労働者の給与水準が改善されないまま景気は足踏み状態にあるといえます。さらに、サブプライムローン問題による米国経済の減速感と世界経済への波及懸念、原油高、原料高による物価上昇傾向に加え、なかなか解決されない年金問題や高齢者の医療制度問題など中長期的な懸念材料も多く、昨年までの回復基調が減速していく様相を呈しています。一方で、食の安心・安全を改めて問われる事件が数多く発生し、消費者は産地や品質への意識をさらに高めていきっかけとなりました。

経済において、また日常生活のあらゆる要素が、もはや国内にとどまらず世界的な規模でリアルタイムに影響し合う時代となり、当社グループの企業活動にお

いても新しい機軸で発想し、よりスピーディーに展開していく必要に迫られています。

こうした状況の中、当社グループの配置販売事業におきましては、原点といえる“人づくり”に注力した体制づくりに努める一方で営業拠点の統廃合を進め、質の高い営業、質の高いサービスの提供を徹底してまいりました。また、直間比率の見直しなど全社的な効率化の推進による経営基盤の強化との相乗効果により収益性の向上が進み、新機軸による大きな一歩を踏み出したところであります。

当社グループの商品やサービスは、医薬品をはじめ食品、飲料水、さらに環境関連と、より高度な安心・安全を提供していく使命を担っています。そして、事業の基本である「ふれあい業」の精神を大切に、常にお客様と対話し、求められる以上の品質をお届けすることで、広く社会に貢献できるものと確信しております。

株主の皆様におかれましても、当社グループの基本姿勢をご理解いただくとともに、今後の可能性にご期待をいただき、今後ともご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

次のページより、当期の概況と来期の見通しについて、代表取締役社長 山田正行のインタビューを掲載しております。

第30期の概況

—— 第30期を振り返って総括すると、どんな一年でしたでしょうか。

第30期を一言で申し上げれば、「経営基盤の新機軸をスタートさせた一年」といえるでしょう。中期計画「信親進2010」の2年目となった当期は、経営基盤の刷新に取り組んだ昨年度来の体制をさらに強化し、社員一丸となって新たなベクトルに向かって歩み始めました。

当社グループの中核事業であります配置販売業においては、営業所の新規出店を通年で1箇所にとどめる一方、既存店のスクラップ・アンド・ビルドを推し進め、質にこだわった営業体制づくりに徹してきました。その根幹となるのは、やはり人材です。今年度は、とりわけ社員教育に注力し、“人づくり”を柱とした大規模な組織変更により、人材力によって高い収益構造の確立を目指してきたことも当期の大きな特色です。

そして、こうした取り組みの数々は、私どもが標榜する「ふれあい業」を時代に合わせて進化させ、お客様との信頼関係を深めていく実りある機会となったといえます。



—— では、この一年の企業グループ各事業の主だった動きについて教えてください。

主力事業である配置販売事業においては、社内体制を強化する一方で、営業所の統廃合をはじめとする大胆な再構築を推し進め、年度末で84拠点にまで削減し、経営及び営業活動のさらなる効率化を図りました。一方、積極的な出店攻勢を継続する中国エリアは、広島県尾道に新たに営業所を出店し、市場開拓に取り組んでいます。また、お客様の満足の向上を目指し、既存商品の見直しをはじめ、綿密な市場分析に基づき開発した新商品の投入など、広い視野でお客様の生活を見つめ、さらに付加価値の高い商品開発にも努めてまいりました。新規事業においてはミネラルウォーター宅配事業が好調で、順調に伸びる需要に対応するために名古屋

市東部を商圈とする名東ウォーターショップを名古屋市守山区に新設。既存の名西・半田ウォーターショップとともに、東海地方主要都市をカバーする戦略のもと、さらなる市場開拓に取り組む一方で、日本全国へのフランチャイズ展開も積極的に進めております。



—— 決算の概況はいかがでしたか。

当期の売上高は、連結売上高で81億11百万円（0.6%減）、と前期より微減となったものの、連結営業利益は1億80百万円（前期は営業損失81百万円）、連結経常利益は2億13百万円（前期は経常損失48百万円）となるなど大幅な収益の改善となりました。これは、営業所の統廃合により上半期に8営業所を廃止するなど、販売費及び一般管理費の削減をはじめとする経営の効率化が結実したものといたします。

しかしながら、過年度役員退職慰労引当金繰入額3億6百万円をはじめ特別損失を約4億円計上することとなったため、当期純損益につきましては2億72百万円の当期純損失となりました。

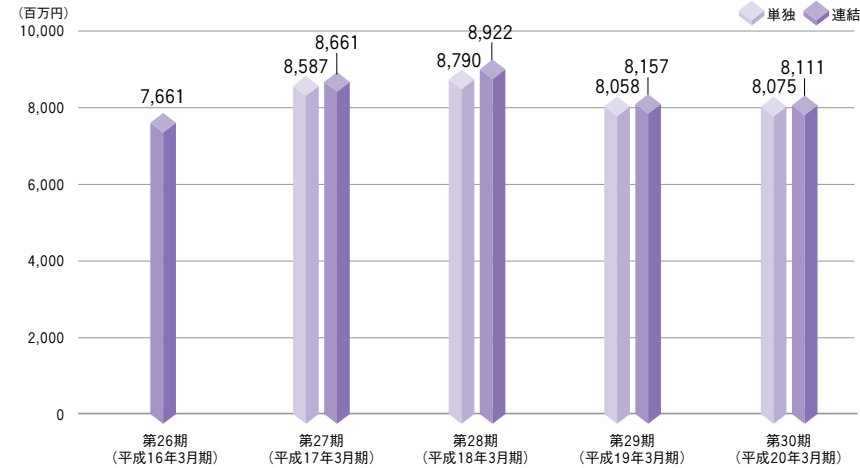
第31期の抱負と見通し

—— 今後の戦略と第31期の具体的な数値目標を提示してください。

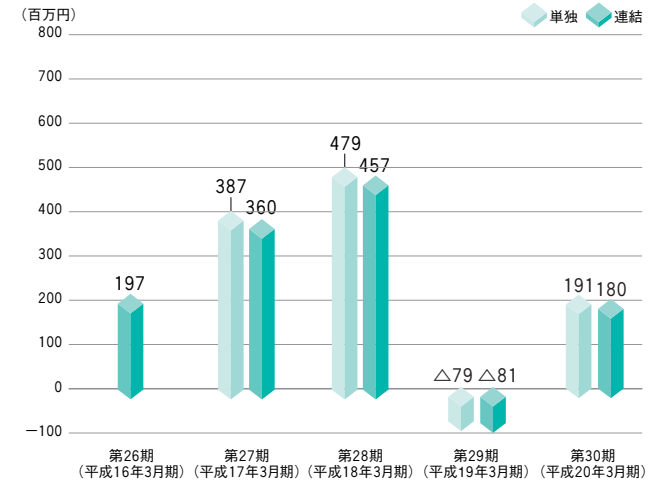
この2年間程は組織改革や人材育成など内部の基礎固めに徹し、苦しい時期が続きましたが、この強固な基礎の上に立ち第31期は新たな飛躍の年としてまいります。第31期通期での連結業績目標は、売上高83億3百万円、営業利益3億48百万円、経常利益3億54百万円、また当期純利益は1億90千万円を見込んでおります。この2期程は、なかなか思うような数字が上らず内心忸怩たる思いがありましたが、当社グループとしましては、この苦しかった時期を今後の糧として、これまで以上に顧客満足を向上させ、広く社会から支持していただける存在になりたいと決意いたしております。株主の皆様におきましても、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

決算ハイライト

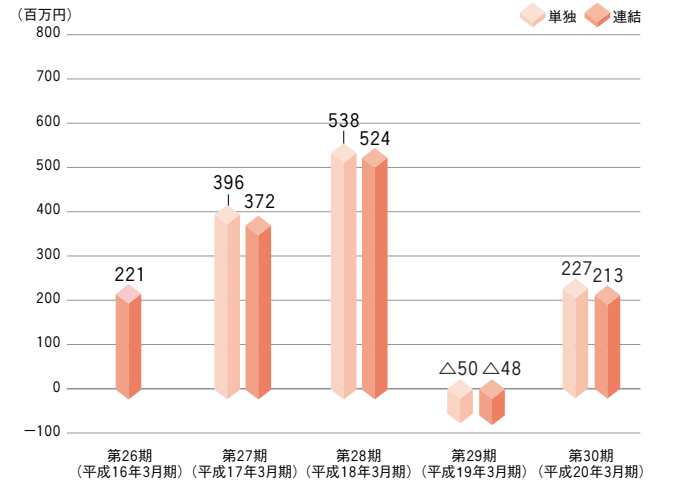
売上高



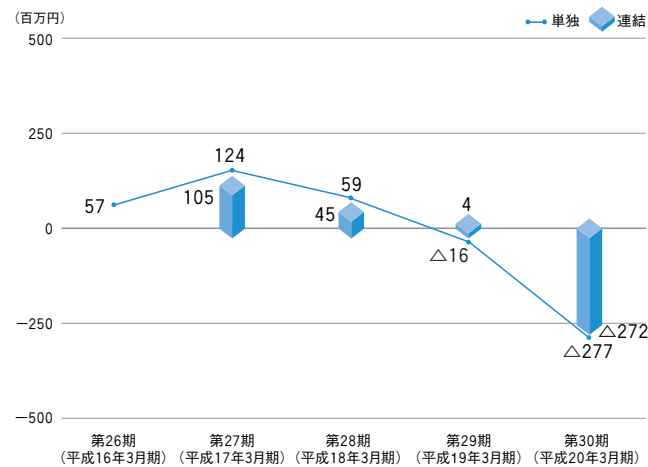
営業利益



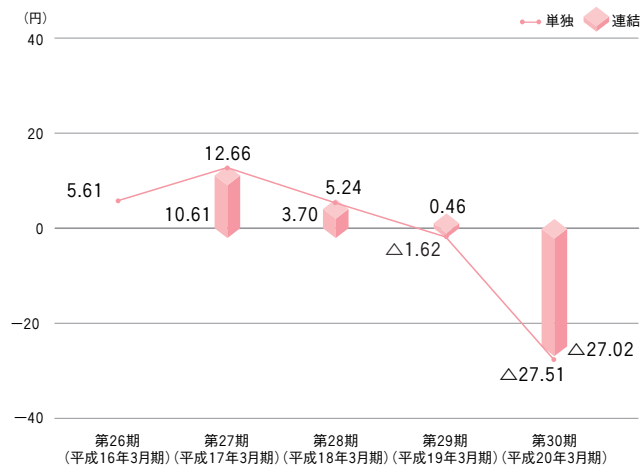
経常利益



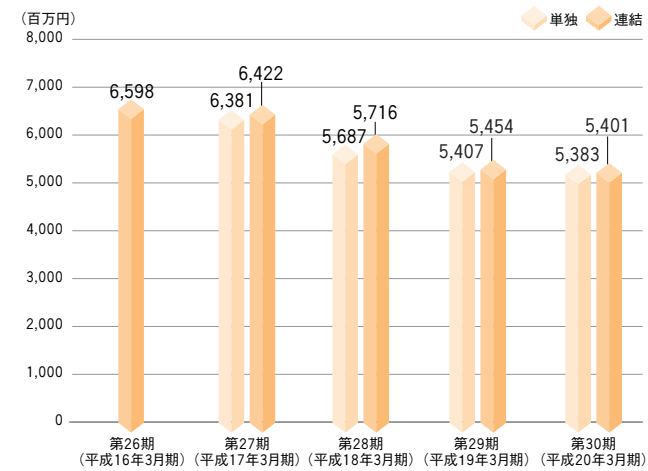
当期純利益



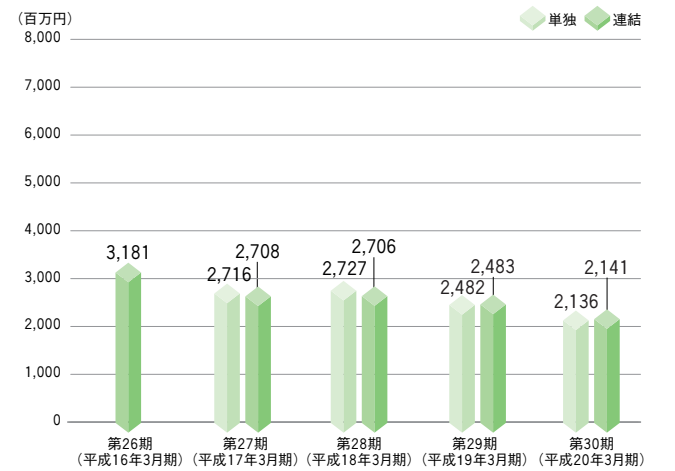
1株当たり当期純利益



総資産額



純資産額



1

第14回2007中京医薬品クリスマスチャリティーコンサート開催

「2007中京医薬品クリスマスチャリティーコンサート」が、平成19年12月4日(火)、愛知厚生年金会館で開催されました。

このコンサートは、当社の国際貢献活動「きずなASSIST」の一環として毎年12月に開催されておりますが、14回目となる今回は名古屋市千種区池下にある「愛知厚生年金会館」に会場を換えての開催となりました。

恒例となっております市民合唱団による「悠久の第九」をメインイベントに、会場では「きずなASSIST」のパネル写真による1年間の活動報告やチャリティー募金のご協力もお願いいたしました。この収益金の一部は、世界の子供たちのために役立てられています。



2

東海テレビ「仔利子の二奏」会 素敵にTalkⅢ ～環境立国への交響曲～」に出演

当社の環境への取り組みに対して、東海テレビより当社社長が取材を受けました。出演番組は、毎週日曜日AM6:30～6:45放送『仔利子の二奏一会 素敵にTalkⅢ～環境立国への交響曲～』で、キャスターの佐々木仔利子さんと社長の対談を通して、地域から海外、そして地球規模にまで及ぶ当社ならではの環境対策、環境貢献活動について語り合われました。

対談テーマは、社長が語る「地球の健康維持とは?」「環境事業、環境対策とは?」「お客様と実現する社会貢献とは?」の3つの柱で構成され、平成20年2月24日(日)、3月2日(日)、3月9日(日)の3週にわたり、主に愛知県・岐阜県・三重県の東海三県で放送されました。



3

個人投資家向け会社説明会開催

平成20年3月17日、東京第一ホテル錦(名古屋市中区錦3-8-21)において個人投資家向け会社説明会を開催いたしました。今回は他社様との初めての共同開催となりましたが、当社は「中京医薬品の現状と将来について」と題して社長が約1時間の講演を行い、初めての試みとして商品プレゼント抽選会を取り入れられました。来場された約150名程の方には、社長の説明に熱心に聞き入っていただきました。今後も当社への理解を深めていただくため、趣向を凝らしたIR活動を積極的に展開していきたいと考えています。



4

医薬品メーカーが考えた確かな化粧品シリーズ「メデイビュー」を新発売

アンチエイジングに伴う、女性のスキンケア意識の高まりに注目し、当社では新たなスキンケア商品の開発に取り組んできました。その成果として『MEDICAL(医療)』と『BEAUTY(美しさ)』を兼ね備えた化粧品シリーズ「MEDIBEAU(メデイビュー)」を発売。

全品医薬部外品、無香料、無鉱物オイル(スティックを除く)、無タール系色素と安心・安全にこだわった薬用化粧品で、肌本来の力を活性化し、健康的で若々しい素肌づくりをサポートする、実感型の化粧品として反響をいただいております。また新イオン導入方式の美顔器「リッチフォレーシス」と併用されますと効果は倍増。お客様の健やかな毎日に向けて、今後も価値ある商品提案を行ってまいります。



株主還元の推移

株主還元の基本方針

株主の皆様の当社への期待にお応えするため、積極的な事業活動により企業価値の向上を図る一方で、今後の収益、財務体質、事業投資への対応を勘案しつつ、株主重視の観点から株主還元施策に取り組んでまいります。配当に関しましては、安定的かつ継続的な配当の維持・向上を基本として、連結業績、中長期的な成長性、純資産配当率(DOE)等を加味し総合的に判断して行う考えです。またそれに加えて株式分割に関しましては、一株当たり利益の増加等を鑑みながら機動的に実施し、還元水準の一層の向上に努めてまいります。

※1 株式公開記念配当金5円を含む
 ※2 創業50周年記念配当金5円を含む
 ※3 株式会社公開50周年記念配当金2.5円を含む

株式分割

平成11年5月	2割分割を実施
平成12年5月	5割分割を実施
平成13年5月	2割分割を実施
平成14年5月	1割分割を実施
平成15年5月	1割分割を実施
平成18年4月	1割分割を実施

配当金の推移(1株当たり)

平成10年3月期 (9月中間期含む)	10円※1
平成11年3月期 (9月中間期含む)	5円
平成12年3月期 (9月中間期含む)	10円※2
平成13年3月期 (9月中間期含む)	5円
平成14年3月期 (9月中間期含む)	7.5円※3
平成15年3月期 (9月中間期含む)	5円
平成16年3月期 (9月中間期含む)	5円
平成17年3月期 (9月中間期含む)	5円
平成18年3月期 (9月中間期含む)	5円
平成19年3月期 (9月中間期含む)	5円
平成20年3月期 (9月中間期含む)	5円

株主優待

平成20年3月の例(3月末現在の株主)

100株以上 (1,000円相当額)	薬屋さんが考えた濃縮野菜
300株以上 (2,000円相当額)	薬屋さんが考えた濃縮野菜
500株以上 (3,000円相当額)	薬屋さんが考えた濃縮野菜
1,000株以上 (5,000円相当額)	薬屋さんが考えた濃縮野菜
5,000株以上 (10,000円相当額)	薬屋さんが考えた濃縮野菜 薬屋さんが処方した美味しいカレー

平成19年3月の例(3月末現在の株主)

100株以上 (1,000円相当額)	「花・香りの物語」 「日本の名泉めぐり」
300株以上 (2,000円相当額)	「花・香りの物語」 「日本の名泉めぐり」
500株以上 (3,000円相当額)	エモアモイスチャー シャンプー&ヘアパック
1,000株以上 (5,000円相当額)	エモアモイスチャー シャンプー&ヘアパック マッサージ&ボディウォッシュ
5,000株以上 (10,000円相当額)	エモアモイスチャー シャンプー&ヘアパック マッサージ&ボディウォッシュ

薬屋さんが考えた濃縮野菜



■薬屋さんが考えた 濃縮野菜

厚生労働省が推奨する野菜の1日の目標摂取量「350g」をはるかに上回る、16種類「400g」の野菜をぎゅっと濃縮して使用。野菜ジュース業界の最大手「カゴメ」の技術協力のもと、おいしさはもちろん、医薬品会社ならではの健康と安心を意識した栄養成分、無添加にこだわりました。業界初、1缶にリコピン25mg含有、さらにクルクミン30mg含有。野菜不足が気になる方をサポートする、からだ思いの超濃厚野菜ジュースです。すっきりとした口当たりで毎日お召し上がりいただけます。

薬屋さんが処方した美味しいカレー



■マサラビーフ

30種類にも及ぶカレースパイスをブレンドし、独自のガラムマサラを作りあげました。薬屋さんの目利きで選んだ、漢方薬としても使われるスパイスの絶妙な味わい。お子様からお年寄りの方まで、きっとご満足いただけます。

■グレイビービーフ

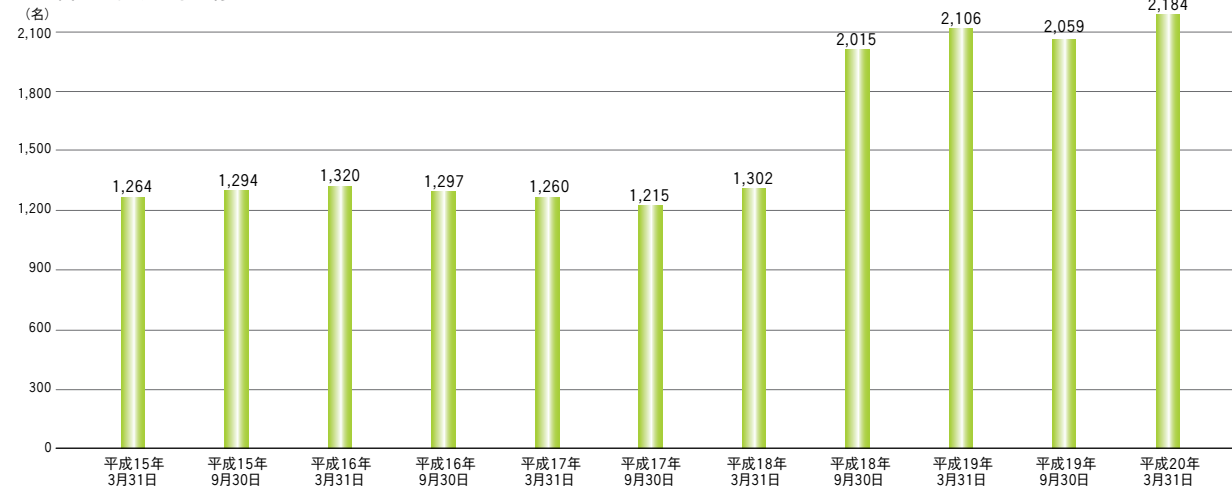
一流シェフのレシピをもとに、漢方薬としても使われる各種スパイスをふんだんに使い、お肉の味を最大限に引き出しました。鉄板でローストした肉汁の旨味がまった贅沢なカレー。本格的な味をご家庭でどうぞ。

アンケート結果報告

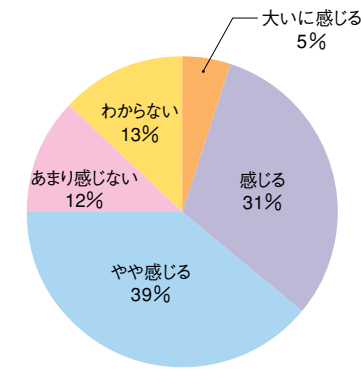
ご協力いただきありがとうございました。

今後のIR活動の参考とするために、アンケートを実施しております。
3月17日の個人投資家向け会社説明会では126名(回答率89.4%)のご回答をいただきました。その集計結果の一部をご報告申し上げます。

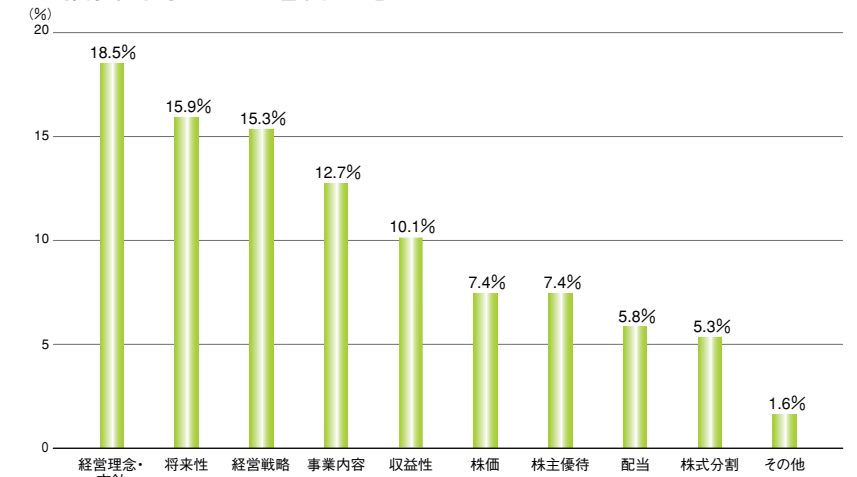
●株主数の推移



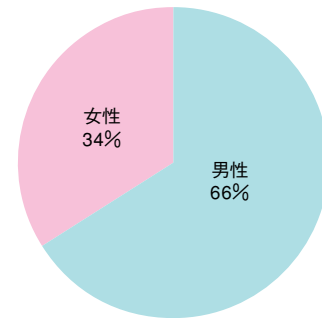
●投資対象としての魅力



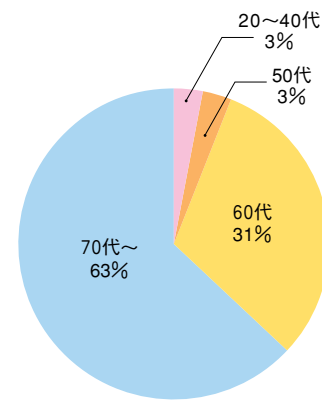
●投資対象として魅力を感じる理由



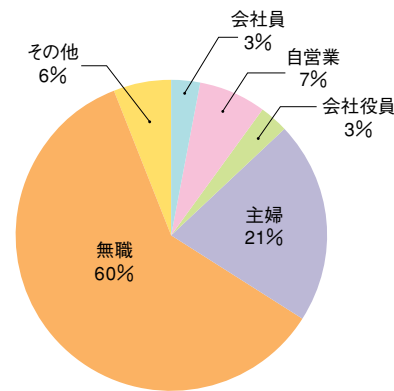
●性別構成比



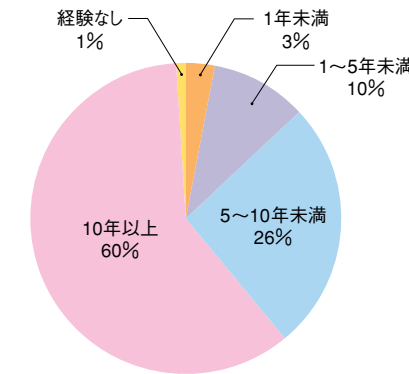
●年齢別構成比



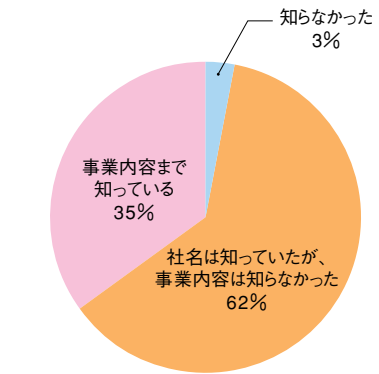
●職業別構成比



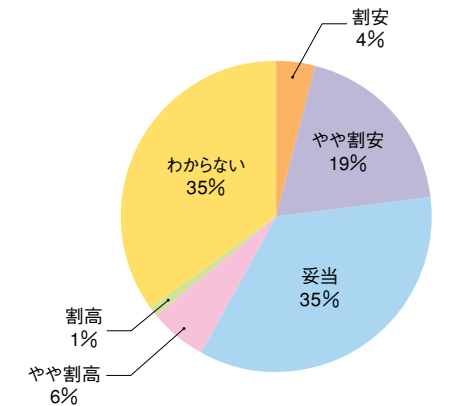
●投資経験



●当社の認知度について



●当社の株価水準について



連結財務諸表(要旨)

会社法における会計について

◎「連結貸借対照表」及び「単体貸借対照表」

2006年5月1日施行の会社法により、「資本の部」が廃止され、「純資産の部」が新設されました。これは貸借対照表上、資産性を持つものを「資産の部」、負債性を持つものを「負債の部」に記載し、それらに該当しないものを資産と負債の差額として「純資産の部」に記載するものです。これにより、会社の支払能力などの財政状態をより適切に表示することが可能となります。

◎「単体損益計算書」

期間中における剰余金の変動は、2006年5月1日施行の会社法により新設された「株主資本等変動計算書」で説明されるため、損益計算書末尾の「未処分利益」の計算区分は廃止されました。

◎「連結株主資本等変動計算書」

2006年5月1日施行の会社法により、「連結株主資本等変動計算書」が新設されました。これは貸借対照表の純資産の部の中で、主として株主の皆様へ帰属する株主資本について、その1会計期間における変動事由と変動額を、連結ベースでご報告するために作成する計算書類です。

◎「単体株主資本等変動計算書」

2006年5月1日施行の会社法により、「利益処分計算書」が廃止され、「単体株主資本等変動計算書」が新設されました。これは貸借対照表の純資産の部の中で、主として株主の皆様へ帰属する株主資本について、その1会計期間における変動事由と変動額を、単体ベースでご報告するために作成する計算書類です。

連結貸借対照表

科目	当期 (平成20年3月31日現在)	前期 (平成19年3月31日現在)
【資産の部】		
流動資産	2,652,024	2,741,437
現金及び預金	964,144	749,447
受取手形及び売掛金	596,411	642,554
棚卸資産	859,744	1,171,869
その他	246,279	195,622
貸倒引当金	△14,555	△18,056
固定資産	2,749,512	2,713,232
有形固定資産	2,050,088	2,049,347
無形固定資産	28,378	32,033
投資その他の資産	671,046	631,850
資産合計	5,401,537	5,454,669
【負債の部】		
流動負債	1,929,782	2,405,960
固定負債	1,330,077	564,883
負債合計	3,259,859	2,970,843
【純資産の部】		
株主資本	2,121,146	2,445,396
資本金	530,950	530,950
資本剰余金	274,115	274,140
利益剰余金	1,864,129	2,187,570
自己株式	△548,047	△547,264
評価・換算差額等	20,531	38,429
その他有価証券評価差額金	10,472	27,018
為替換算調整勘定	10,059	11,410
純資産合計	2,141,677	2,483,825
負債及び純資産合計	5,401,537	5,454,669

(単位:千円)

連結損益計算書

科目	当期 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)	前期 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)
売上高	8,111,356	8,157,528
売上原価	2,858,137	3,093,004
売上総利益	5,253,218	5,064,523
販売費及び一般管理費	5,072,234	5,145,620
営業利益	180,984	△81,096
営業外収益	61,812	54,985
営業外費用	29,166	22,518
経常利益	213,630	△48,629
特別利益	—	311,227
特別損失	400,888	81,785
税金等調整前当期純利益	△187,258	180,812
法人税、住民税及び事業税	142,717	65,773
法人税等調整額	△57,054	110,414
当期純利益	△272,922	4,625

(単位:千円)

連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当期 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)	前期 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	627,610	△379,918
投資活動によるキャッシュ・フロー	△87,904	74,083
財務活動によるキャッシュ・フロー	△316,986	265,387
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,037	5,211
現金及び現金同等物の増減額	216,681	△35,235
現金及び現金同等物の期首残高	609,321	644,556
現金及び現金同等物の期末残高	826,003	609,321

(単位:千円)

連結株主資本等変動計算書 当連結会計年度(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

科目	株主資本				評価・換算差額等			純資産合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定		評価・換算差額等合計
平成19年3月31日残高	530,950	274,140	2,187,570	△547,264	2,445,396	27,018	11,410	38,429	2,483,825
連結会計年度中の変動額	—	—	—	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	△50,507	—	△50,507	—	—	—	△50,507
当期純損失	—	—	△272,922	—	△272,922	—	—	—	△272,922
自己株式の取得	—	—	—	△941	△941	—	—	—	△941
自己株式の処分	—	△25	△11	157	120	—	—	—	120
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△16,546	△1,351	△17,897	△17,897
連結会計年度中の変動額合計	—	△25	△323,441	△783	△324,250	△16,546	△1,351	△17,897	△342,148
平成20年3月31日残高	530,950	274,115	1,864,129	△548,047	2,121,146	10,472	10,059	20,531	2,141,677

(単位:千円)

個別財務諸表(要旨)

貸借対照表

科目	当期 (平成20年3月31日現在)	前期 (平成19年3月31日現在)
【資産の部】		
流動資産	2,613,466	2,680,048
固定資産	2,769,781	2,727,601
有形固定資産	2,049,423	2,048,018
無形固定資産	28,378	31,900
投資その他の資産	691,979	647,682
資産合計	5,383,247	5,407,649

(単位:千円)

損益計算書

科目	当期 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)	前期 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)
売上高	8,075,801	8,058,215
売上原価	2,848,373	3,033,790
売上総利益	5,227,428	5,024,425
販売費及び一般管理費	5,035,540	5,103,577
営業利益	191,887	△79,152
営業外収益	59,460	50,894
営業外費用	24,032	22,260
経常利益	227,316	△50,517
特別利益	—	311,227
特別損失	420,012	97,174
税引前当期純利益	△192,696	163,534
法人税、住民税及び事業税	142,603	65,632
法人税等調整額	△57,395	114,232
当期純利益	△277,904	△16,330

(単位:千円)

科目	当期 (平成20年3月31日現在)	前期 (平成19年3月31日現在)
【負債の部】		
流動負債	1,916,204	2,363,314
支払手形及び買掛金	657,347	562,619
短期借入金	80,000	935,000
1年内返済予定長期借入金	366,203	204,377
賞与引当金	184,000	123,000
その他	628,653	538,317
固定負債	1,330,706	562,220
社債	49,000	118,000
長期借入金	780,887	299,590
退職給付引当金	153,878	139,070
役員退職慰労引当金	323,790	—
その他	23,151	5,560
負債合計	3,246,911	2,925,534
【純資産の部】		
株主資本	2,125,864	2,455,096
資本金	530,950	530,950
資本剰余金	274,115	274,140
利益剰余金	1,868,846	2,197,270
自己株式	△548,047	△547,264
評価・換算差額等	10,472	27,018
其他有価証券評価差額金	10,472	27,018
純資産合計	2,136,336	2,482,115
負債及び純資産合計	5,383,247	5,407,649

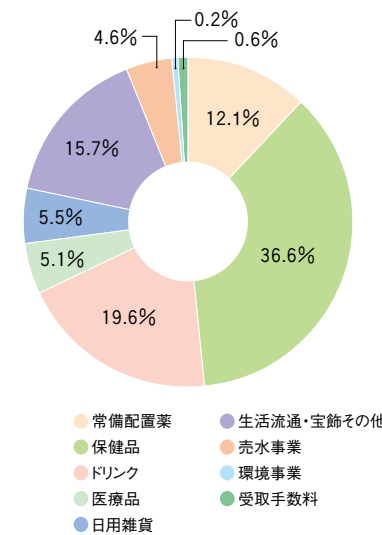
(単位:千円)

株主資本等変動計算書 当事業年度(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

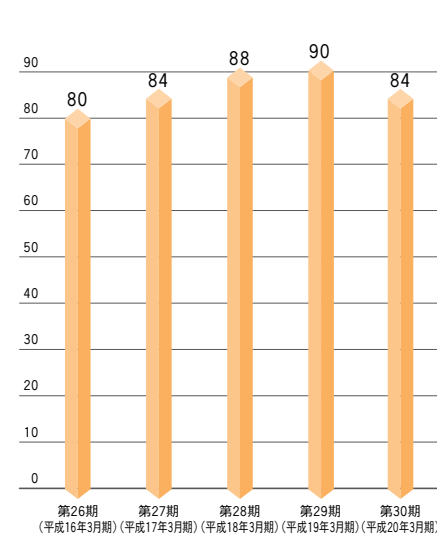
科目	株主資本					評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	其他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成19年3月31日残高	530,950	274,140	2,197,270	△547,264	2,455,096	27,018	27,018	2,482,115
事業年度中の変動額	—	—	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	△50,507	—	△50,507	—	—	△50,507
当期純損失	—	—	△277,904	—	△277,904	—	—	△277,904
自己株式の取得	—	—	—	△941	△941	—	—	△941
自己株式の処分	—	△25	△11	157	120	—	—	120
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△16,546	△16,546	△16,546
事業年度中の変動額合計	—	△25	△328,423	△783	△329,232	△16,546	△16,546	△345,779
平成20年3月31日残高	530,950	274,115	1,868,846	△548,047	2,125,864	10,472	10,472	2,136,336

(単位:千円)

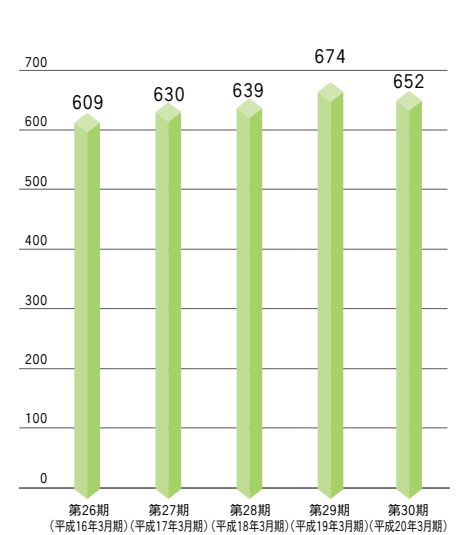
商品別売上高構成比



営業拠点数

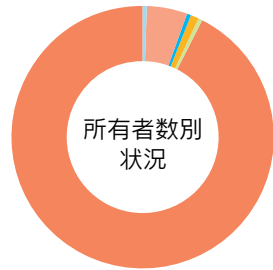


従業員数

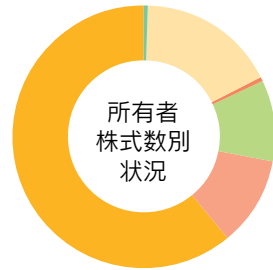


株式の状況 (平成20年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 25,000,000株
- 発行済株式の総数 11,385,734株
- 株主数 2,184名

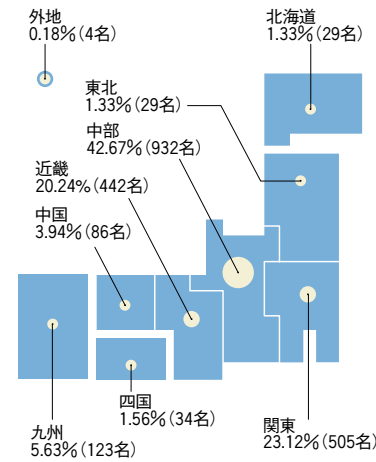


- 個人・その他 95.19% (2,079名)
- 外国人 0.23% (5名)
- 金融機関・証券会社 0.91% (20名)
- その他国内法人 3.57% (78名)
- 自己名義株式 0.05% (1名)
- 政府・地方公共団体 0.05% (1名)

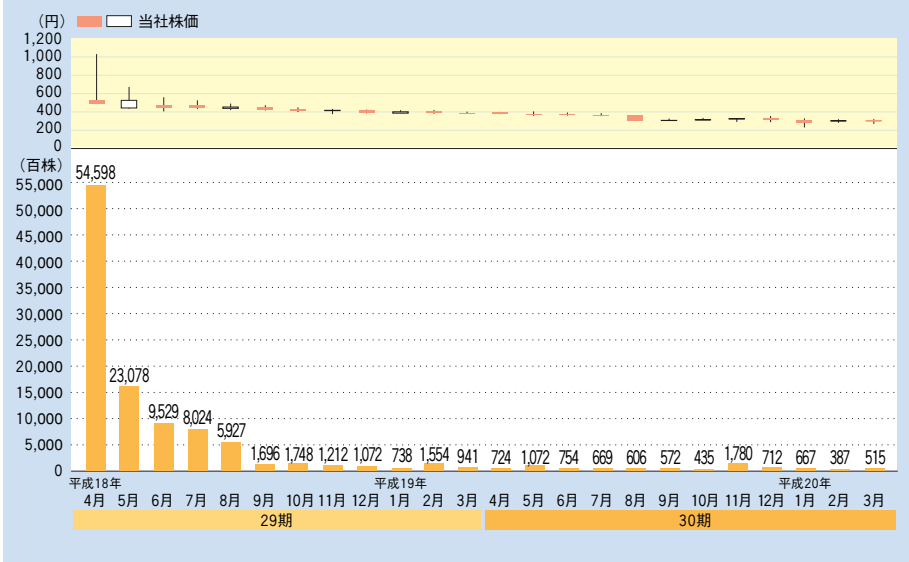


- 個人・その他 61.52% (7,004千株)
- 自己名義株式 11.29% (1,285千株)
- 金融機関・証券会社 10.50% (1,194千株)
- 外国人 0.05% (6千株)
- その他国内法人 16.63% (1,893千株)
- 政府・地方公共団体 0.01% (0.5千株)

地域別分布状況



株価の推移



大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
山田正行	1,343,786	11.8
山田幸男	1,111,086	9.8
有限会社ヤマショー	1,051,685	9.2
山田雄三	759,075	6.7
株式会社三菱東京UFJ銀行	224,246	2.0
日興コーディアル証券株式会社	217,400	1.9
中京医薬品取引先持株会	182,820	1.6
中京医薬品従業員持株会	182,268	1.6
山田重子	163,163	1.4
山田正人	145,697	1.3

会社の概要・役員・事業所

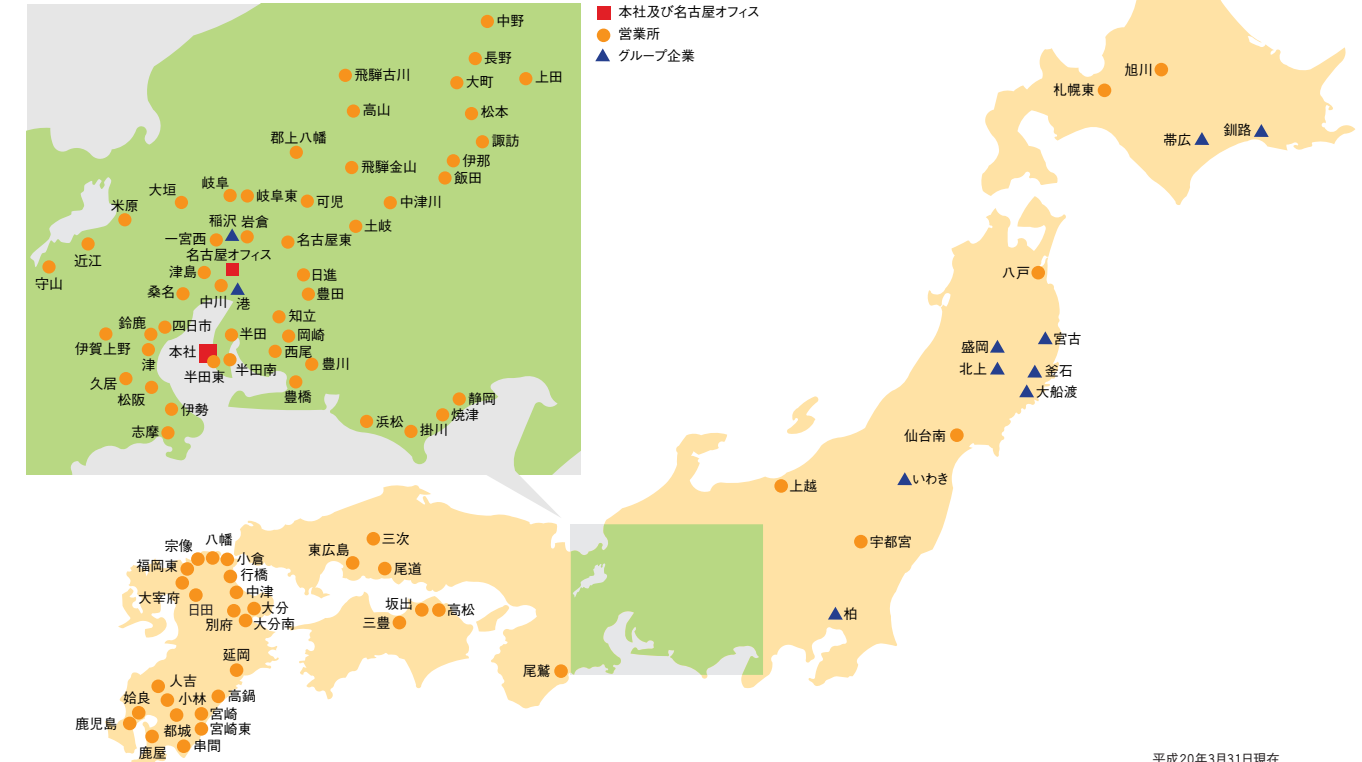
会社の概要 (平成20年3月31日現在)

商号	株式会社中京医薬品
本社所在地	愛知県半田市亀崎北浦町2-15-1
創業	昭和24年
設立	昭和53年
資本金	5億3,095万円
代表者	代表取締役社長 山田正行
従業員数	748名(嘱託・パート含む)
事業内容	医薬品・医薬部外品・健康食品・清涼飲料水・医療機器・化粧品・日用品・衣料品・生保・損保・通販・宝飾品などの販売
連結子会社	株式会社ユナイテッドデザイン 株式会社中京医薬品コア

役員 (平成20年6月24日現在)

代表取締役社長	山田正行
専務取締役	山田雄三
常務取締役	辻村誠
取締役	山田幸男
取締役	山本謙二
取締役	松本好博
取締役	金澤光二
取締役	佐土原しづ子
取締役	小澤千加四
常勤監査役	柘植信吾
監査役	長谷川了治
監査役	沼田尚
監査役	吉田和永

事業所



平成20年3月31日現在